SusHi Tech Tokyo 実行委員会

日時：令和８年８月24日（月）13:15～14:00

場所：オンライン開催

＜ 審議事項 ＞

- SusHi Tech Tokyo 2027に関する企画・運営等業務委託の契約締結について
- SusHi Tech Tokyoプログラムディレクターの設置について

＜ 意見交換 ＞

- フォーカスオンについて

SusHi Tech TOKYO

実行委員会メンバー

役　職	氏　名	所　　属　　等
委員長	ミヤサカ　マナブ **宮坂　学**	東京都副知事　**【出席】**
副委員長	サクマ　コウセイ **佐久間 巧成**	東京都スタートアップ戦略推進本部　本部長　**【出席】**
委員	オガワ　ナオコ **小川　尚子**	（一社）日本経済団体連合会　常務理事　**【代理出席】近藤　上席主幹**
委員	サイトウ　ヒロノリ **齋藤　弘憲**	（公社）経済同友会　代表理事　**【出席】**
委員	セキ　サトシ **関　聡司**	（一社）新経済連盟　事務局長　**【出席】**
委員	コバヤシ　ハルヒコ **小林　治彦**	東京商工会議所　常務理事　**【代理出席】渋谷　副部長**
委員	フジモト　アユミ **藤本 あゆみ**	（一社）スタートアップエコシステム協会　代表理事　**【出席】**
委員	ササキ　ヨシノリ **佐々木 喜徳**	（一社）スタートアップスタジオ協会　代表理事　**【出席】**
委員	フクダ　エリ **福田　恵里**	（一社）インパクトスタートアップ協会　**【出席】**
委員	スナガワ　マサル **砂川　大**	（一社）スタートアップ協会　　代表理事　**【出席】**

第１回契約管理委員会委員（提案内容審査）

委員種別		摘要	氏名（敬称略）	所属
委員長	A	東京都	スズキ　ノリコ 鈴木　のり子	スタートアップ戦略推進本部
委員	B	スタートアップビジネスに明るい外部有識者（５名）		
	C			
	D			
	E			
	F			

※委員名は非公開

契約管理委員会の結果報告

＜契約件名＞　SusHi Tech Tokyo 2027に関する企画・運営等業務委託

１．SusHi Tech Tokyo 契約管理委員会（2027年度第１回）

(1) 開催日時

2026年８月７日（金）9:00～15:00

(2) 選考の経緯

提案者５者から企画の提案がなされ、第１回契約管理委員会おいて、審査基準に基づき厳正な審査を行った結果、デロイトトーマツベンチャーサポート株式会社、株式会社博展、フォースタートアップス株式会社、一般社団法人ベンチャー・カフェ東京の提案が最も優れていると判断された。

	（A）株式会社日経BP、KPMGコンサルティング株式会社、株式会社日本経済新聞社	**（B）デロイトトーマツベンチャーサポート株式会社、株式会社博展、フォースタートアップス株式会社、一般社団法人ベンチャー・カフェ東京**	（C）EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社、株式会社博報堂プロダクツ、株式会社スコープ	（D）ソニーグループ株式会社、株式会社三井住友銀行、株式会社日本総合研究所、株式会社フロンテッジ、株式会社ソニー・ミュージックソリューションズ、ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社	（E）株式会社東北新社、PwCコンサルティング合同会社
評価点（平均点・800点満点）	480	**648**	511	477	480

(3) 評価のポイント

デロイトトーマツベンチャーサポート株式会社、株式会社博展、フォースタートアップス株式会社、一般社団法人ベンチャー・カフェ東京の提案は、ビジネスデイ・パブリックデイの運営等で高い評価を得ており、平均点が最も高い結果となった。委員から「連携体各社のトップ層の強いコミットメントなど、履行体制を十分に確保しており、質の高い運営が期待できる」等の意見があった。

委員からの意見について

＜主な評価に関する意見＞

-
-
-
-
-

※委員のコメントは非公開

契約管理委員会の結果報告

2．SusHi Tech Tokyo 契約管理委員会（2027年度第２回）

(1)開催日時　2026年８月12日（水）16:00～17:00
(2)出席者 下記のとおり
(3)審査の結果　本契約手続きに瑕疵が認められないことを確認した。

第２回契約管理委員会委員

委員種別	摘要	氏名（敬称略）	所属
委員長	東京都	スズキ　ノリコ 鈴木　のり子	スタートアップ戦略推進本部
委員	公契約に明るい 外部有識者 （２名）		

※委員名は非公開

令和８年８月 21 日

SusHi Tech Tokyo 実行委員会
委員長　宮坂　学　様

SusHi Tech Tokyo 契約管理委員会
委員長　鈴木　のり子

SusHi Tech Tokyo 2027 に関する企画・運営等業務委託
契約管理委員会　実施報告書

１．第１回契約管理委員会（提案内容審査）

（１）契約件名：SusHi Tech Tokyo 2027 に関する企画・運営等業務委託

（２）開催日：令和８年８月７日（金）

（３）出席者：記載の委員一覧における番号 A～F の委員

（４）選考の経緯

提案者５者から企画の提案がなされ、第１回契約管理委員会において、審査基準に基づき厳正な審査を行った結果、デロイトトーマツベンチャーサポート株式会社、株式会社博展、フォースタートアップス株式会社、一般社団法人ベンチャー・カフェ東京の提案が最も優れていると判断された。

なお、委員長は公平性の観点から審査には参加せず、質疑応答のみ実施した。

（５）採点結果

（単位：点）

社名	株式会社日経 BP、KPMG コンサルティング株式会社、株式会社日本経済新聞社	デロイトトーマツベンチャーサポート株式会社、株式会社博展、フォースタートアップス株式会社、一般社団法人ベンチャー・カフェ東京	EY ストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社、株式会社博報堂プロダクツ、株式会社スコープ	ソニーグループ株式会社、株式会社三井住友銀行、株式会社日本総合研究所、株式会社フロンテッジ、株式会社ソニー・ミュージックソリューションズ、ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社	株式会社東北新社、PwC コンサルティング合同会社
評価点（800 点満点）	480	648	511	477	480

※評価点は、審査に参加した委員の平均点である。

（６）評価のポイント

デロイトトーマツベンチャーサポート株式会社、株式会社博展、フォースタートアップス株式会社、一般社団法人ベンチャー・カフェ東京の提案は、ビジネスデイ・パブリックデイの運営等で高い評価を得ており、平均点が最も高い結果となった。委員から「連携体各社のトップ層の強いコミットメントなど、履行体制を十分に確保しており、質の高い運営が期待できる」等の意見があった。

２．第２回契約管理委員会（契約締結前審査）

（１）契約件名：SusHi Tech Tokyo 2027 に関する企画・運営等業務委託

（２）開催日：令和８年８月 12 日（水）

（３）出席者：別紙記載の委員一覧における番号 A・G・H の委員

（４）審査の結果

本契約手続きに瑕疵が認められないことを確認した。

審査委員一覧

番号	区分	所属・属性	役職・氏名
A	委員長	東京都スタートアップ戦略推進本部	プロモーション推進部長　鈴木　のり子
B	委員Ⅰ		
C	委員Ⅰ		
D	委員Ⅰ		
E	委員Ⅰ		
F	委員Ⅰ		
G	委員Ⅱ		
H	委員Ⅱ		

※委員名等は非公開

SusHi Tech Tokyo プログラムディレクターの設置（案）

SusHi Tech Tokyoのさらなる飛躍・発展のためには、**未来の都市を構想する国内外のトップエコシステムプレイヤー**をセッション登壇者へと招聘し質の高いセッションを実施することが重要である。ついては、**実行委員や受託者の持つリレーションに加え、新たな取組として、著名人との強いコネクションを持つ有識者を「SusHi Tech Tokyoプログラムディレクター」として選任**し、登壇候補者との直接交渉などを担っていただく。

目　的	＜設置要綱 第１条＞ ・更なる飛躍・発展に向け、未来の都市を構想する国内外のトップエコシステムプレイヤーをセッション登壇者として誘致し、プログラムの充実を図ることが重要。 ・登壇候補者との強いコネクション及び専門的知見を有する有識者に登壇候補者への働きかけやセッションなど、プログラム全体の企画・構成等に関する助言を得るため、プログラムディレクターを設置する。
職　務	＜設置要綱 第２条＞ ・プログラムディレクターはSusHi Tech Tokyoにおいて、登壇にふさわしい者に対し、登壇依頼を行う。 ・セッション及びフォーカスオンコンテンツの内容、登壇候補者、プログラム構成その他プログラム充実に資する事項について、必要な助言を行う。
設置・選任	＜設置要綱 第３条・第４条＞ ・プログラムディレクターは実行委員会に設置。 ・SusHi Tech Tokyoの事業に精通し、各分野とのリレーションに長けた者とし**ディレクターの選任・解任は実行委員長が決定する。**
任期・時期	＜設置要綱 第５条～第８条＞ **・任期は選任の日から当該実行委員会の会計年度末まで**（再任を妨げない）。**職務は原則無償。** ・任期中及び任期後も守秘義務を負い、公平性をもって職務を実施。庶務は実行委員会事務局において処理。

フォーカスオンについてのディスカッション

フォーカスオンとは

- 開催年のカンファレンスを特徴づけるコンセプトの一つであり、「持続可能な都市をハイテクノロジーで実現」を体現するメッセージ性を各テーマに持たせることで、**スシテックが目指す方向性を多角的に具現化**
- 領域が重なる又は興味関心を持つ**多彩なプレイヤーが集まる旗印**となり、セッション、デモ展示等を通じ、ビジネス創出や進展を加速

スシ２０２５（３領域）	スシ２０２６（４領域）
ＡＩ	ＡＩ
Quantum(量子技術)	Robotics
Food Tech	Resilience
	Entertainment

2026　フォーカスオンについての振り返り

・**ＡＩ**

➡唯一２年連続したテーマ。**分野を横断する基盤技術**であり、多様な出展者を巻き込みやすく、テーマとして有効だった。
一方、**大半の事業者が該当**するため、分類に課題あり。

・**ロボティクス**

➡テーマとしての**一体性、具体性があり、最も機能**した。
昨今のカンファレンスでは**「Physical AI」というワードが一般的**。

・**エンターテインメント**

➡協賛企業の展示や未来体験パビリオンにも魅力的な展示が多く、**フォーカスオンとしての軸や訴求力に欠けた**。

・**レジリエンス**

➡**災害から復旧する知見や技術を広く発信できた**。一方、防災～エネルギーなど幅が広く、**出展者の巻き込みやコンテンツ化に工夫**が必要。

2027 フォーカスオンたたき台（候補案）

- グローバルトレンドや**東京・日本の課題や強みを発信**する**フォーカスオン**として、2026のテーマ検証に加え、**国・都の政策等を勘案**し、以下をテーマ候補として検討
- 各テーマに中分類（サブテーマ）を設け、**対象領域・技術を明確化**
- 日本・東京の強みである「**エンタメ**」や「**フード**」は、カンファレンス全体を通して**体感・体験できるコンテンツ**を盛り込み、世界へ発信

2026から発展・強化

AX



AI Transformation

【主な対象領域・技術】
- **フィジカルAI（ロボティクス）**
- **AI半導体**
- **業界特化型AI（バーティカルAI）**
- **国産AI（ソブリンAI）**

2026から継続

Resilience



【主な対象領域・技術】
- **防災・都市強靭化**
- **次世代エネルギー**
- **クライメートテック・GX**
- **量子**
- **サイバーセキュリティ**

新規

Longevity（仮）



【主な対象領域・技術】
- **創薬、医療（予防、再生など含む）**
- **フードテック**
- **ビューティーテック**
- **スポーツテック**
- **フェムテック**
- **エイジテック**